

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

12月号／2012年12月1日発行

3 つ の 目 的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

10月30日(火)
17:00～

創立記念例会

演題『震災後、これからの日本の行方』 講師／猪瀬直樹氏
(作家・東京都副知事)

【いわき経済同友会 寺主君男代表幹事 挨拶】

皆さんこんばんは。本日は皆様方には、大変お忙しい中、このように多くの方に創立記念公開講演会に足を運んで頂きまして、高いところから厚く御礼申し上げます。

私共いわき経済同友会は、現在114名会員の下、4つのグループ、2つのプロジェクト政策提言室、ブランド研究会そして5つの委員会組織構成の中で、「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」を目的のもと、元気な地域づくりを旗印に日夜活動を展開している団体であります。

そうした中、毎年11月に創立記念月として多くの市民の皆さんと勉強しようと言うことで創立記念公開講演会という企画を行なっております。

今回は、作家でもあり、そして、現在「時の人」でもあります東京都副知事 猪瀬様にお越し頂きました。今この震災と原発事故により被害に苦しんでいる福島県民、私たちに活力とエネルギーを与えて頂きたく、大変公務のお忙しい中、来て頂きました。ご静聴お願い致します。

さて、3月11日の震災からなんと辛い苦しい二度目の正月を迎えようとしております。私共いわき経済同友会は、震災前より重点活動として、人口減少、少子高齢化に伴う産業構造変化に対応すべく、产学研官政に連携による産業再編の政策提言を進めておりましたが、震災後4月よりこの復旧、復興地域再生を図る為に規制緩和や税制優遇措置を図れる特別区域制度の導入を提言してきました。

一つには、「経済特区」 二つ目「原発環境エネルギー特区」 三つ目「港湾特区」 四つ目には「観光特区」 五つ目「福祉医療特区」 六つ目「都市計画特区」

そして同じく昨年の6月、経済団体26団体の協力のもと、いわき経済復興推進大会を開催させて頂き、経済特区の重要性について提言をさせて頂きました。

その後、昨年の暮れ、特区の上の特区といわれる福島県復興再生特措法の制定がされました。

これらの特区を受け、昨年の9月から、環境エネルギー特区による、復興の目玉として、再生可能エネルギー浮体式洋上風力発電の誘致推進の活動の展開をしてきました。

また、地域再生の重要な糸口として港の大規模整備

ということで、10月には中国の大連へ自由貿易港、関税撤廃の研修として、視察に行って参りました。

さらには、今年の7月観光特区、統合型リゾートによる観光戦略の構築を図るため、コンベンション機能を備えたカジノ等々の視察の為、シンガポール視察に行って参りました。

今日の新聞等々で報道されましたように、私たちが提言、要望してきましたことが、県内の地方自治体では初となる観光推進特区が本市において、ようやく申請されました。このことは、私たちの活動がようやく実を結んだと思っております。また、私共4年前から「潮目のさかな」のブランド化等々を進めて参りました。

昨年より、カジキ料理コンテストの開催、カジキ料理をいわき市の新ブランドに育てる為、今年も開催しカジキ料理取扱店100店舗を目指して、マップも作成致しましたところであります。

特に、先日小名浜で、Sea級グルメ全国大会が開催されグランプリを獲得し、全国に魚の安心、安全性をPRできたと思っております。

先日、こんな記事を見ました、38年前の宇宙船艦ヤマトのテレビ版の制作が進んでいるという記事がありました。異性人からある物質で汚染された地球を救う為に、福島県出身の沖田艦長を乗組員により、道の銀河の彼方から浄化装置を持ち帰り、地球を元の姿に取戻すという内容であります。

今、本市においても除染、ガレキ処理、被災者の移転先、住居の問題、仮の町への対応、そして高齢化が進む中での福祉医療問題等々が、山積であります。この事を直視しながら、豊かな自然、歴史、文化等を次の世代へ引き継ぐ為、明るく・楽しく・元気よく、安心、安全を求めて復旧、復興の為、各団体と協力しながら、元気な地域づくり、元気な企業づくりをしながら活動の展開をして参りたいと思いますので、よろしくご協力下さいよう、お願い致します。

それでは話が長くなりましたが、最後までご静聴下さいようお願いし、ご挨拶と致します。



演題『震災後、これからの日本の行方』

講師／猪瀬 直樹氏（作家・東京都副知事）

皆さん こんばんは

私は今年の2月26日の東京マラソンに65才で初出場し完走することができました。2年程前より家の周りを走り始め、今では1日3km月間80kmを目標に走っています。高橋直子さんより“継続”というアドバイスを戴き、今日は10月30日ですので今日と明日で残り8kmを走らなければなりません。

さて、10月25日石原慎太郎東京都知事が辞任を発表し31日都議会がありますので、承認されると私が筆頭副知事ということで「東京都知事代行」ということになります。石原氏ももう80才です。しかし、戦前戦後、高度成長期、バブルそしてバブル崩壊から20年、今、日本丸は羅針盤が無い状態ですから、大きな観点から歴史を知っている（長老ではない）元老と呼ばれる人が必要なのです。石原さんは最後の元老となる人だと思います。石原さんは変人です。変人と言えば自民党の総裁選で安倍さんと競った石破さんもかなりの変人だと言われています。

2010年8月2日 首相が鳩山さんから菅さんに換わって初めての衆院予算委員会、石破さんは私の本「昭和16年夏の敗戦」（中公文庫）を手に、菅首相に文民統制の重要性を説きました。本の内容を簡単に説明しますと、昭和16年夏に『総力戦研究所』というのが出来、30才位の若者が集められ、日本とアメリカが戦争をしたらというシミュレーションをしました。大体が予想通りの経過を辿り日本は戦争に負けました。そのシナリオになかったのは原爆投下だけだったという内容です。当時、毎年毎年総理大臣がかわっていては、このような結論が出ていてもなにもできない。軍部の暴走をチェックできない官僚機構だったのです。同じように総理大臣が度々かわる今、石破さんは、「菅さん、あなたは三軍の長に会いましたか？総理大臣は三軍を動かす責任があります。霞ヶ関の縦割りの問題がありますが…」菅首相の答弁は「会っていません。」そして、9月にあの日本の巡視船に中国漁船が衝突してくる事件が起きました。

東京は震災後、福島にできる限りの支援を行っています。東京都環境局より臨時職員を福島県に13人、うちいわき市に6人、宮城県に20人、岩手県14人合計47名を派遣しています。また、教育の面では東京都が福島枠として50人を採用して、東京都の先生を5年間して頂いて福島へ還すという支援もしています。

猪瀬氏が震災直後に命を繋いだ事例の紹介

NHK「命を救った情報ライフライン」でリポートされた内容について



宮城県気仙沼市、地震直後児童福祉施設の内海園長は子どもたちをつれ、公民館屋上に避難、屋上には子どもたちをはじめお年寄り、乳児など400人が孤立、市内では火災が起き公民館にも火が追っていました。内海園長も唯一通じた携帯電話のメールで家族に危機を伝えました。「公民館にいます」「火の海ダメかも、がんばる」メールを受け取ったイギリス在住の長男は日本の消防などには電話がつながらず、メッセージをインターネットに投稿、東京で偶然それを読んだ鈴木修一さんは面識のないがすぐに動いてもらえそうな人物を考え、東京都の猪瀬副知事に送ります。副知事からの情報を受けて、東京消防庁のヘリコプターが急遽、公民館に向かったのは18時間後、2日間かけて全員無事救助されました。メール、ツイッター、フェイスブック皆さんやってくださいね。

東京五輪2020年をよろしくとロンドンオリンピックへ行ってきました。内海直子園長の長男の直仁さんにも会っていました。震災から1年半、国と東京都、そして民間企業も巻き込み帰宅困難者協議会というのをつくり、これからの災害対策に向けてとして“帰宅困難者条例”をつくりました。

6月27日筆頭株主になっています東京電力の株主総会に行ってきました。筆頭株主といつても2.7%。資産売却リストになかった東京電力病院（稼働率20%理由 福島に医療支援の為）を事前に立入り調査し追求し売却となりました。

原発のゴミをどうするか？中間施設をどうするか、最終処分場をどうするのか、たいへん難しい問題です。7月25日私は北海道幌延町にある“幌延”深地層研究センターを視察しました。地下333m東京タワーを逆さにしたようなものです。さらに20m下の350mの底。地層に埋めるケースの試作モデルを研究している所です。

今回の事故をきっかけに

- 東京電力の経営はこれでいいのか。
- 東京湾にある老朽化した発電所を最新型にかえる。
- 放射性廃棄物をどう処理するのか。
- 除せんはどういうお金で誰がやるのか。

福島の廃炉まで40年かかります。これからの日本の行方にはいろいろな問題が山積みです。また尖閣諸島、竹島、北方領土と国内外には、「決断する力」が求められています。

11月グループ会報告

経済特区研究会グループ会 政策提言室

■日 時 11月22日(木曜日)18:30~
■場 所 建設会館3階

【合同勉強会】

1. テーマ:「報道から見た、震災後のいわき」について
2. 講師:元朝日新聞記者 丸山 賢治氏

※略歴:1948年生まれ 朝日新聞山形、静岡、京葉、つくば、

富山、東京等を経て2005年4月よりいわき支局長。

2008年4月退職。2007年1月より遠野在住。

日本冬虫夏草の会理事、農政ジャーナリストの会会員など

3. 内容

- 1) 第1G会と政策提言室の合同の勉強会を開催した。はじめに長谷川副代表より今回丸山氏に依頼する事になった背景及び講師の紹介を頂きました。



- 2) 内容は講師が元ジャーナリストとして現在遠野町に住み震災・放射能事故後の活動とマスコミに対して感じたことを中心に、いわき民報に連載している内容をお話いただきました。

①いわき市に茨城と同様に環境線量値の推移公表を促したこと。

②湯本高校へ避難している人に自宅の風呂を提供する支援を行ったこと。

③原発事故のあと浜通り常駐のほとんどの新聞記者、放送記者が「一時撤退」したことについて、報道にたづさわる者の基本は何かという元ジャーナリストとしての熱い思いについて

④講師が理事をしている冬虫夏草についてサンプルも含めて説明してもらう。

⑤最後に質問事項(共有事項)として原発事故の東電、国の対応や放射能汚染の実態について話を頂いた。



スポーツ交流グループ会

■日 時 11月27日(火曜日) 8:40~
■場 所 五浦庭園カントリークラブ

『女子プロツアーオープン』

東日本大震災復興支援の為、今年半ばに急遽開催が決定した女子プロゴルフ「エリエールレディースオープン(11.16~18)」にて、大会直後に日程を合わせツアーオープンが開催されたコンディションのままでのプレーを楽しんでもらった。

当日は北風の吹く中、グリーンの速さはツアーオープンほど早くはなかったらしいが、非常に良いコンディションの中プレーを楽しみながら会員相互の交流を深めた。

資質向上グループ会

■日 時 11月17日(土曜日)
■場 所 喜多方市方面

第8回(11月度)移動グループ会:喜多方市方面の文化財を観る。どんよりとした天候の中、4名にて予定のコースを塙本氏の車両にて出発。

国重文の勝常寺薬師堂の見学。大同2年(807)に徳一上人により開かられた東北を代表する古刹である。国宝に指定を受けているものに木造薬師如来と両脇侍像がある。

平安初期の仏像30余躯が一ヶ所保存されているのは我が国では珍しい事だそうです。

新宮熊野神社・長床は、長大な規模と木太い柱の配列が特徴の建物です。建物とイチョウの落ち葉がとても綺麗でした。直径1尺5寸(45.4cm)の円柱44本が10尺の等間隔に5列に並び各柱の上には平三斗(ひらみつと)の組物が置かれている。

喜多方のラーメン屋さん、大三元に入り喜多方の美味しいラーメンを頂きました。

(合)大和川醸造店に行き、作業場などを見学し、美味しいお酒を購入しました。

喜多方藏品美術館は古伊万里、伊万里の皿、徳利や高蒔絵、会津の漆器、陶器、桐など多くの作品を見学しました。

恵日寺に着いた時は、少し雨量が多く、車窓からの見学でした。稻川醸造店の見学。どこに行っても美味しい日本酒があり、日本酒を制覇するのは難しいです。

無事に帰平する。

いわきブランド研究会

■日 時 11月30日(金曜日)12:00～
 ■場 所 鳥料理 ちゃぼ

カジキグルメのブランド化を目指して

- 1)組織づくり→住民や企業、行政当局で構成した
計画策定のためのグループを作る。
- 2)市場分析→地域の利点や資源、将来性の分析。
- 3)長期計画→分析に基づき地域の長期ビジョンを
描き、目標を踏まえた長期的アクションプラン
を作成する。
- 4)商品開発→質を上げるための新しい魅力ある商
品の開発。
- 5)対外宣伝→イベントの開催、マスメディアの活用、
HPの充実等。以上五つを取り組みの柱として
カジキグルメのブランド化に向け取り組む事と
しました。



さか もと しん すけ
坂本新輔
 ひまわり信用金庫 常務理事
 業種／信用金庫業
 会社所在地 〒970-8026
 いわき市平二町目10番地

平成24年度第2回 新入会員オリエンテーション開催

開催日時 平成24年11月29日(木)18:30～

二回目の新入会員オリエンテーションを開催したところ、
4名の新入会員が参加した。

会食の後、担当副代表挨拶、自己紹介、会の説明、質疑
応答、フリーディスカッションをし、最後に自己PR、抱
負などを発表しあい、会の趣旨の理解と参加者との交流を
図った。

反省点として、事業計画・予算など活動内容が理解しや
すい資料を準備したほうがよいと委員会から意見が出まし
た。

【会員増強委員会】

◆誕生日プレゼント

カラント工が贈られました。



右から
 山野邊浩良さん
 小野英典さん
 嘉徳司さん
 寺主君幹事さん
 (11月26日生)
 (11月26日生)
 (11月26日生)
 (11月26日生)

12月 通常例会(忘年会)・第2回臨時総会

12月11日(火) ■会場/スパリゾートハワイアンズ ラピータ
 ■懇親会 会費/5,000円

■18:30～ 例会・総会 ■下記講演会 19:00～ ■親睦会20:00～

演題『サンシャイン観光推進特区について』

講師 いわき市商工観光部

出席できない場合は、委任状の提出をお願いいたします。

バスの手配がありますのでご利用ください。

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
 お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館 4F 発行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
 TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211 編集 情報委員会 委員長 坂本和久
<http://www.seaiwaki.jp> 副委員長／小野英典・鈴木清友・竹下康照
 E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp 委員／山崎勇一郎